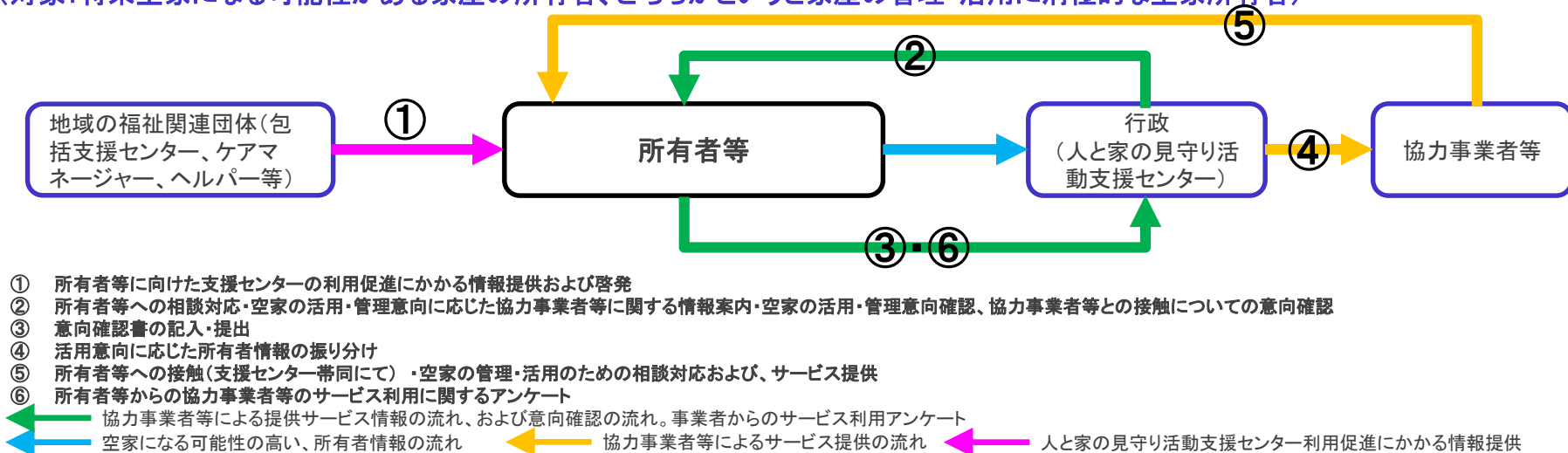


事業名称: 地域による人と家の見守り活動支援事業

・特定空家の発生未然防止を目的に、地域の福祉関連団体が空家になる可能性のある家屋等の所有者(以下、所有者等という)に対し「人と家の見守り活動支援センター」の利用促進にかかる情報を提供および啓発し、支援センターが所有者等に寄り添い支援することで、空家の適正管理・活用につなげる仕組みを検討、試行する。

1. 構築予定の所有者情報の外部提供の流れ

(対象: 将来空家になる可能性がある家屋の所有者、どちらかという家屋の管理・活用に消極的な空家所有者)



2. 情報提供における官民の役割

【行政(人と家の見守り活動支援センター)】

- ・所有者への意向確認、提供可能な情報の聴取、相談対応
- ・協力事業者等への情報提供

【地域の福祉関連団体】

- ・所有者への支援センター利用促進にかかる情報提供、啓発

【協力事業者等】

- ・情報提供を受けた空家、所有者への相談対応、サービス提供

ケース会議
にて
情報共有

3. 協力事業者等への情報提供における取り決め等

- ・支援センターが所有者に意向確認を取る際
- ・協力事業者等に情報提供をする際
- ・情報提供先の協力事業者等選定基準
- ・支援センター、福祉関連団体、協力事業者等、による課題解決のためのケース会議の開催

事業名称: 地域による人と家の見守り活動支援事業

4. 事業における特徴・成果

【啓発イベントの実施】

- 空家に関する問題意識の醸成のため1月、2月に、福祉従事者向け(ケアマネジャー、ホームヘルパー)にセミナーを2回、一般区民向けに啓発イベントを2回実施した。
- セミナーでは、第2回目には既存の会議と合わせて開催することで参加者数を増やした。啓発イベントでは、区内にある古い家屋をリノベーションした施設「千鳥文化」で2回行い、第1回目は「福祉と空家のしあわせな関係」第2回目は「地域と空家のしあわせな関係」として、建築と社会学の有識者、空家で活動する実践者を招いた。参加者からは「高齢化になり、手入れできずに家に今まで通り住めないとかの問題は、空き家だけでなくいろいろな面で困っているのはどこも同じだなと思いました。」「地域の民家活用場所で開催されることが新鮮でした。」といった感想が得られた。

【啓発イベントの様子】



【啓発イベントの内容】

地域福祉と空家のしあわせな関係

第1回 平成30年 2月18日(日)
午後2時～午後4時(開場:午後1時30分)
「福祉と空家のしあわせな関係」
地域福祉の観点からの空家発生予防や活用についての講演、パネルトーク

講師

- 横山 俊祐氏 (大阪市立大学大学院)
- 滝口 三保氏 (ドットアーキテクト)
- 松岡 邦彦氏 (つくぼ片山家プロジェクト)

第2回 平成30年 2月25日(日)
午後2時～午後4時(開場:午後1時30分)
「地域と空家のしあわせな関係」
まちづくりの観点からの空家発生予防や活用についての講演、パネルトーク

講師

- 谷 亮治氏 (博士(社会学))
- 家成 俊勝氏 (ドットアーキテクト)

会場 千鳥文化

大阪府住之江区住之江区民センター「千鳥文化」

〒595-8501 大阪府住之江区北加賀屋5-2-29

【最寄り】地下鉄千鳥駅北加賀屋4番出口より徒歩4分

主催: 大阪府住之江区役所

共催: 住之江区民センター(地域福祉課) ☎ 06-6662-9906 図 06-6666-2040

①福祉従事者向け

【内容】 司法書士に聞く！空き家と家族のこれからの問題
講師: 司法書士河田真一氏

ケアマネジャー向け

【日時】 平成30年1月18日(木)午後2時～3時
【場所】 住之江区在宅サービスセンターさざなみ 3階多目的ルーム

【参加者数】10名

ホームヘルパー向け 定期会議内で実施

【日時】 平成30年2月15日(木)午後3時～4時
【場所】 住之江区役所3階 3-1会議室

【参加者数】29名

②一般向け

地域福祉と空き家のしあわせな関係

【日時】 平成30年2月18日(日)午後2時～4時
【場所】 千鳥文化

【講師】 横山俊祐氏(大阪市立大学大学院)、滝口美保氏・松岡邦彦氏(つくぼ片山家プロジェクト)

【参加者数】11名

【日時】 平成30年2月25日(日)午後2時～4時

【場所】 千鳥文化

【講師】 谷亮治氏(博士(社会学))、家成俊勝氏(ドットアーキテクト)

【参加者数】23名